

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスえる		
○保護者評価実施期間	8年 2月 1日		8年 2月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27名	(回答者数)
○従業者評価実施期間	8年 2月 1日		8年2月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 9名
○事業者向け自己評価表作成日	8年 2月 26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	様々な経験をした支援者が揃っており、活動内容や支援の工夫などに広がりがある	<ul style="list-style-type: none"> ◎中高生が多いことから、長期休みに大人の事業所の見学を行なった。 ◎サークル活動として1年間を通じて取組めるプログラムを用意した。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎先輩の経験談などの茶話会を中高生と行っていく ◎サークル発表会などを設定し、より充実した活動と達成感が味わえるようにする。
2	繋がりのある支援を目指して、将来、家族、仲間などとの様々な経験ができる。	<ul style="list-style-type: none"> ◎お仕事体験のようなプログラムに取り組み、将来に向け、就労などをより意識して、充実した生活に繋がる支援を行っている。 ◎相談事業所など、現在自分たちが活用するサービスや将来的に活用サービスなどの説明や見学を行なうことで、安心感とスムーズな移行に繋がる支援を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎将来に向けてえーの先輩の経験談などの茶話会を中高生と行っていく ◎家族や兄弟との交流ができる行事や家族の茶話会など、家族との繋がりを大切にしている
3	少ない利用日でも様々な領域の支援が受けられる	<ul style="list-style-type: none"> ◎曜日を固定していただくため、活動内容を曜日ごとに循環させて、1ヶ月で様々な領域の活動ができるように工夫している。 ◎その日の利用者を見て活動内容を考え、グループ化や小集団化、個別など本人に合わせて支援ができるようにしている 	<ul style="list-style-type: none"> ◎進め方だけでなく、より細かく支援方法を考えておくことで、より支援計画や本人の状況にあった支援となるようにする

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	様々な障害への対応の難しさ	<ul style="list-style-type: none"> ◎重度心身障害児、医療的ケア児等の支援を積極的に行っていきたいが、一般住宅の改修のため、環境的に難しい。 ◎運動できるようなスペースがない。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎改修工事がより良い環境への移転 ◎リフト車、電動昇降ベッドの活用
2	非常時の対応	<ul style="list-style-type: none"> ◎机上訓練が多く、実際の動きなどの訓練ができていない。 ◎非常時の保護者との連携の訓練ができていない。 ◎安全計画などの周知ができていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎計画の見直しと周知方法の徹底 ◎連携した訓練実施
3	特性を理解した支援	<ul style="list-style-type: none"> ◎異動者が多く、利用者の特性の理解をするまでに時間を要した ◎①特性理解とアセスメント⇒②計画作成⇒③活動計画の③の部分で個別計画を毎日の活動へ反映する部分が課題 	<ul style="list-style-type: none"> ◎計画一覧を準備して活動計画を作成する ◎当日の打ち合わせで支援内容や支援方法までを支援者で共有する